

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、お問合せ先まで遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

後期早産児における動脈管閉鎖に要する日数と関連する因子の検討

1. 対象となる患者さん

2020 年 8 月 1 日～2025 年 7 月 31 日の間に在胎 32 週 0 日から 35 週 6 日で出生し、当院 NICU/GCU に入院されたお子さんとそのお母さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 総合周産期母子医療センターNICU 西久保 拓真

3. 研究の目的と意義

この研究では、診療録（カルテ）情報をもとに、後期早産児で動脈管が閉じるまでにどのくらい日数を要するか、またどのような因子がその時期に関係するかを調べます。この研究によって、動脈管開存症になりやすい背景や、治療が必要となる患者さんの特徴が明らかになる可能性があります。その結果、より適切な経過観察や早期対応につながることを期待されます。

4. 研究の方法

電子カルテを用いて対象の患者さんの超音波画像および診療録を参照し、動脈管閉鎖までの時間を確認します。患者さんおよび患者さんのお母さんのカルテから背景情報や治療内容などを集め、どのような人が動脈管が閉じやすい/閉じにくいのかを調査します。

5. 使用する情報

患者さんのカルテから患者さんの情報（在胎週数、体重、性別、気管内挿管の有無、単胎か多胎か、分娩方式、動脈管閉鎖日）、お母さんのカルテからお母さんへ投与した薬剤

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2030年3月31日

8. 個人情報の取り扱い

個人情報は、インターネットに接続していない院内電子カルテシステム内で厳重に管理し、院外に持ち出すことはありません。研究に用いる際には、氏名などの個人が特定される情報をそのまま用いず、研究用の番号を付けて取り扱います。研究成果を公表する際も、個人が特定されることはありません。

9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 総合周産期母子医療センターNICU 西久保 拓真

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：k180830@naramed-u.ac.jp